

平成30年度神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会 活動計画(案)

神通川・庄川上流域大規模土砂災害対策連絡協議会（平成 26 年 12 月設立）は、関係各機関が大規模な土砂災害に対し実施する防災・減災活動を円滑かつ的確に実施するための相互連携体制構築に必要な項目について、関係行政機関間で協議、調整を行う。

平成 30 年度は、昨年度に引き続き、大規模土砂災害対応に関する関係各機関の連携内容を検討し、関係機関が迅速かつ適切な防災・減災活動を実施するため、次の通り活動を実施するものとする。

1. 連絡協議会の開催

連絡体制の構築及び強化のため継続的に開催し、顔の見える関係を構築する。

平成 30 年度は幹事会を年 2 回、連絡協議会本会を 1 回開催とする。

ただし、協議会等で要望があった場合は、追加開催を検討する。

2. 連携マニュアル(案)の更新・改訂

連携マニュアル(案)、事前防災行動計画(案)について、昨年度の訓練結果（地震時の同時多発的土砂災害）より抽出した課題から見直し、更新するとともに、法改正や地域防災計画の変更等による更新・改訂を行う。

また、今年度実施する合同防災訓練で抽出された課題を整理し、必要に応じて更新・改訂を行う。

3. ミニ合同防災訓練の実施

大規模土砂災害に関する連携対応について、今年度からの防災担当者を対象として、災害発生時からの初動対応について事前に学習するミニ合同防災訓練（過年度の訓練成果、連携マニュアル、事前防災行動計画を使用）を実施する。

4. 合同防災訓練の実施

高山市・飛騨市・白川村・岐阜県・国等の各防災担当者が一堂に会し、連携マニュアル(案)に基づき、災害発生前から大規模土砂災害の発生、住民避難までの一連の流れを想定した合同防災訓練を実施する。

想定する対応行動は昨年度訓練の課題を踏まえて設定する。

合同防災訓練 日時：平成 30 年 10 月末（予定）

会場：高山市（予定）